

日治時代『台灣民曆』之時代劃分

城地 茂

國立高雄第一科技大學 應用日語系

摘 要

1895年到1945年日本統治台灣，本島人（台灣人）必須使用太陰太陽曆，因此統治者需要頒布曆法。

此外台灣與日本內地有1個小時的時差，所以透過台灣神社於1914年起發行了獨自的『台灣民曆』。

然而迄今日本的科學史家為曾完整的接觸到『台灣民曆』，這是因為日本國立天文台並未保存完整的『台灣民曆』。在此筆者希望能介紹『台灣民曆』。『台灣民曆』的時代區分如下。

年	封面	發行者
1914 - 1919	白色封面曆	台灣神社（台灣神苑會）
1920 - 1926		台灣總督府內政局寺社課
1927 - 1933	水藍色封面曆	台灣總督府學務局
1934 - 1945	黃色封面曆	

1937年廢除了當時的西部標準時，與日本內地間的時差也就此消失。一般認為這是考慮到在太平洋的戰爭。但是在此之後『台灣民曆』仍然持續發行。

藤田捨次郎（19c-20c）是負責『台灣民曆』編輯者之一，他從事初等教育的工作，之後成為翻譯官，而不是天文學者。所以『台灣民曆』基本上是將日本曆（本曆、略本曆）譯成中文。

關鍵字： 《台灣民曆》、台灣神社、台灣總督府、天文學、曆法、時差

日本統治時代における『台湾民曆』の時代区分

城地 茂

国立高雄第一科技大学 応用日語系

要 旨

日本が台湾を統治した1895年から1945年も、本島人（台湾人）は、太陰太陽曆が必要だった。そのため、統治者は頒曆をする必要に迫られた。

また、台湾と日本内地では1時間の時差があったため、独自の『台湾民曆』が台湾神社を通じて、1914年から発行された。しかし、これまで、日本の科学史家によって、『台湾民曆』が取り上げられることはなかった。なぜなら、日本の国立天文台にも全ての『台湾民曆』が保存されていなかったからである。そこで、これを紹介したい。

『台湾民曆』の時代区分は、以下のようになっている。

年	表紙	発行
1914 - 1919	白表紙曆	台湾神社（台湾神苑会）
1920 - 1926		台湾総督府内務局社寺課
1927 - 1933	水色表紙曆	台湾総督府文教局社会課社寺係
1934 - 1945	黄表紙曆	

1937年、それまでの西部標準時が廃止され、日本内地との時差がなくなった。これは、太平洋における戦争を考慮したものと考えられる。しかし、その後も『台湾民曆』は、発行され続けた。

『台湾民曆』の編集に携わった人物としては、藤田捨次郎（19c-20c）の名前が残されている。初等教育に従事した人物で、後に翻訳官となっているが、天文学者ではない。このように、『台湾民曆』は基本的に、国曆（本曆、略本曆）を中国語に焼き直したものとと言えるだろう。.

キーワード：『台湾民曆』、台湾神社、台湾総督府、天文学、曆法、時差

The Epoch of “Taiwanese Calendar” in Taiwan under the Japanese Rule

Jochi Shigeru

Department of Japanese

National Kaohsiung First University of Science and Technology

Abstract

Japan ruled Taiwan islands from 1895 to 1945. Because Taiwanese had used the lunar-solar calendar, therefore new ruler, Japanese emperor had to give some astronomical information to them.

Moreover, there is time difference of 1 hour in Taiwan and Japan main land. Therefore Japanese emperor gave the “Taiwan Min Reki” (“Taiwanese Calendar”) through the Taiwan shrine to Taiwanese from 1914. However, Japanese historians of calendar had never introduced it, thus we will present a brief introduction about it.

The “Taiwanese Calendar” has some epochs as follows;

Year	Book Cover	Publisher
1914 – 1919	White page calendar	The Taiwan shrine
1920 – 1926		The Home Office
1927 – 1933	Blue page calendar	The Department of Education
1934 – 1945	Yellow page calendar	

In 1937, it became no time difference between Taiwan and Japan main land because Japanese empire prepared the War, but it was still given to them.

One of the editors, FUJITA Sutejiro (19c-20c) was a translator and or a teacher at primary school, was not an astronomer. Thus we can conclude that the “Taiwanese Calendar” was basically the translation of Japanese calendar into Chinese.

Keywords : “Taiwanese Calendar”, Taiwan Shrine, the government-general in Taiwan, astronomy, calendar, the equation of time